



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月6日

上場会社名 佐藤商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8065 URL <http://www.satoshoji.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田和夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田浦義明 TEL 03-5218-5312  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	131,277	8.7	2,261	15.7	2,562	20.8	1,649	16.5
25年3月期第3四半期	120,809	1.1	1,955	△9.8	2,120	△3.7	1,415	37.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,371百万円 (225.0%) 25年3月期第3四半期 1,037百万円 (52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	75.71	75.67
25年3月期第3四半期	64.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	105,904	32,203	30.3
25年3月期	94,437	29,299	30.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 32,047百万円 25年3月期 29,113百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	8.0	2,800	7.4	2,950	7.2	2,150	27.7	98.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成26年2月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	21,799,050株	25年3月期	21,790,350株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,210株	25年3月期	3,955株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	21,792,373株	25年3月期3Q	21,786,402株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策により雇用・所得環境に改善の動きがみられたことにより個人消費が底堅く推移し、復興需要や緊急経済対策の効果から公共投資が増加したことに加え、円安株高を背景に輸出が伸び、緩やかに回復しております。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主力の商用車業界や建産機業界が堅調に推移したことなどにより売上高は1,312億7千7百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は22億6千1百万円（前年同期比15.7%増）となりました。経常利益は持分法適用会社の損益が改善したこと及び支払利息が減少したことなどにより25億6千2百万円（前年同期比20.8%増）となりました。特別損失に訴訟和解金を計上しましたが、特別利益に和解成立に伴う訴訟損失引当金戻入額を計上したこと、遊休固定資産の売却益及び太陽光発電設備設置によるエネルギー対策設備補助の収入を計上したことなどにより四半期純利益は16億4千9百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①鉄鋼事業

鉄鋼事業においては、主力の商用車業界が国内の復興需要などを背景に堅調に推移したこと、建産機業界もアジア新興国で堅調に推移したことなどにより、売上高は867億3千5百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は16億5千6百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

#### ②非鉄金属事業

非鉄金属事業においては、輸入商材だけでなく、輸出商材も堅調に推移した結果、売上高は204億1千7百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は1億1千4百万円（前年同期比31.9%増）となりました。

#### ③電子材料事業

電子材料事業においては、国内外の自動車生産が堅調に推移したことを受け、主力の車載機器向けプリント配線基板用積層板の販売が堅調に推移し、売上高は129億4千4百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益は2億2千5百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

#### ④ライフ営業事業

ライフ営業事業においては、個人消費の底堅さを背景に自社商品の拡販が進みましたが、商品の入れ替え等による一時的な需要減などにより、売上高は57億2百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は2億4千9百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

#### ⑤機械・工具事業

機械・工具事業においては、国内及び諸外国における設備需要を関係各部署と連携し受注した結果、売上高は54億7千7百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益は1千4百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて114億6千6百万円増加し1,059億4百万円となりました。その要因の主なものは、流動資産において、受取手形及び売掛金が増加したこと等により87億円増加したこと、また、固定資産において、投資有価証券が増加したこと等により27億6千5百万円増加したことです。

#### ②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて85億6千3百万円増加し737億1百万円となりました。その要因の主なものは、流動負債において、支払手形及び買掛金が増加したこと等により62億3千9百万円増加したこと、固定負債において、繰延税金負債が増加したこと等により23億2千3百万円増加したことです。

#### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて29億3百万円増加し322億3百万円となりました。その要因の主なものは、利益剰余金が増加したこと、その他の包括利益累計額において、その他有価証券評価差額金が増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国を取り巻く環境は、中国、アジア経済は通貨安や政情不安等を背景に経済成長の鈍化が見え始めておりますが、米国経済の回復基調が引き続き持続し、欧州経済も金融市場が小康状態を保つなど先進国が世界経済を支える構図となっております。我が国経済においても消費税率引き上げの駆け込み需要や復興需要等を背景に引き続き回復基調で進むと想定されます。

このような環境下におきまして、当社グループの平成26年3月期の連結業績も主要取引業界である商用車業界、建産機業界及び農機業界の堅調な推移を受け、前回予想を上回る見通しであることから、平成25年10月23日に公表いたしました連結業績予想を変更することとしました。本内容については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,559	3,162
受取手形及び売掛金	49,472	56,189
商品及び製品	14,712	16,067
繰延税金資産	847	377
その他	1,275	2,760
貸倒引当金	△91	△80
流動資産合計	69,776	78,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,929	4,634
土地	6,308	6,102
その他（純額）	1,506	1,439
有形固定資産合計	12,743	12,176
無形固定資産	120	129
投資その他の資産		
投資有価証券	10,830	13,901
その他	1,760	2,070
貸倒引当金	△794	△850
投資その他の資産合計	11,797	15,121
固定資産合計	24,661	27,427
資産合計	94,437	105,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,695	41,678
短期借入金	17,412	18,061
1年内償還予定の社債	700	100
未払法人税等	285	245
賞与引当金	628	344
訴訟損失引当金	528	39
その他	2,482	3,503
流動負債合計	57,733	63,972
固定負債		
長期借入金	4,414	5,933
繰延税金負債	2,309	3,131
退職給付引当金	294	295
役員退職慰労引当金	28	32
その他	357	335
固定負債合計	7,404	9,728
負債合計	65,137	73,701
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,319	1,321
資本剰余金	880	882
利益剰余金	23,443	24,656
自己株式	△2	△4
株主資本合計	25,641	26,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,444	5,050
繰延ヘッジ損益	2	8
為替換算調整勘定	26	131
その他の包括利益累計額合計	3,472	5,190
新株予約権	32	28
少数株主持分	153	127
純資産合計	29,299	32,203
負債純資産合計	94,437	105,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	120,809	131,277
売上原価	111,833	121,599
売上総利益	8,976	9,677
販売費及び一般管理費	7,021	7,416
営業利益	1,955	2,261
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	173	212
受取賃貸料	101	90
持分法による投資利益	60	119
仕入割引	81	86
その他	85	66
営業外収益合計	506	581
営業外費用		
支払利息	197	154
売上債権売却損	44	42
賃貸費用	69	53
その他	29	29
営業外費用合計	341	279
経常利益	2,120	2,562
特別利益		
固定資産売却益	1,065	77
補助金収入	—	66
負ののれん発生益	—	26
訴訟損失引当金戻入額	—	158
特別利益合計	1,065	328
特別損失		
固定資産除売却損	4	5
投資有価証券評価損	—	1
子会社株式評価損	42	61
会員権評価損	13	0
減損損失	9	8
訴訟損失引当金繰入額	—	39
訴訟和解金	—	200
厚生年金基金脱退一時金	840	—
特別損失合計	910	317
税金等調整前四半期純利益	2,275	2,574
法人税、住民税及び事業税	729	499
法人税等調整額	126	420
法人税等合計	855	920
少数株主損益調整前四半期純利益	1,419	1,653
少数株主利益	3	4
四半期純利益	1,415	1,649



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,419	1,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	1,603
繰延ヘッジ損益	△1	5
為替換算調整勘定	38	105
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	3
その他の包括利益合計	△382	1,717
四半期包括利益	1,037	3,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,033	3,368
少数株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高						
外部顧客への売上高	82,307	17,222	10,913	5,767	4,599	120,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	82,307	17,222	10,913	5,767	4,599	120,809
セグメント利益 又は損失(△)	1,324	86	215	332	△3	1,955

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鉄鋼事業	非鉄金属事業	電子材料事業	ライフ営業事業	機械・工具事業	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
売上高						
外部顧客への売上高	86,735	20,417	12,944	5,702	5,477	131,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	86,735	20,417	12,944	5,702	5,477	131,277
セグメント利益	1,656	114	225	249	14	2,261

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。